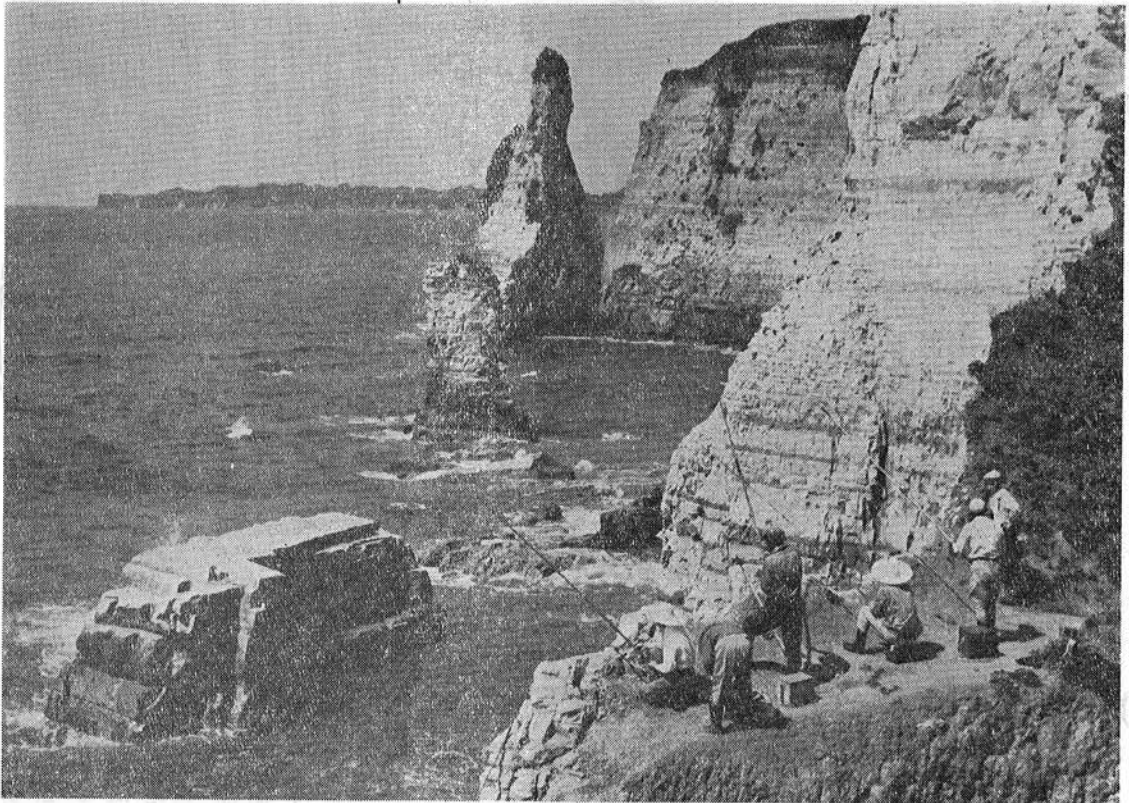


おんじゆく 広 報

No. 35

昭和39年

6月28日発行



観光特集号

観光御宿めざして前進しよう 町長井上文吉.....	2
観光御宿の近代化 観光協会長 金井英一.....	5
移動県庁開く.....	10

写真=風と波の作った芸術品、写真手前より軍艦島、雀島、ろうそく岩。白い砂の美しさを誇る御宿海岸と対象的な野性美の原始境、岩和田海岸。ここにも観光客の訪れがめつきり増えている。

詩=作者は渡辺隆治さんです。

白砂の浜よ
むかしから
かわらぬ
その清純さゆえに
いとしまれ
そして
潮ざいは
想い出を
かきたてる
おんじゆくは
みんなの中に
生きている

観光御宿めざして前進しよう

このたび本町観光協会が改た
まつた組織のもとに誕生したこ
とはまことに結構なことであり
ます。

現在御宿は観光地として脚光
をあびて参りましたが、今日ま
での間、本町観光の基礎づくり
のため、並々ならぬ努力をして
こられた方は前観光協会会長岩瀬
禎之氏であると申しても過言で
はないと思います。

御宿と言えば海女、海女と言
えば岩瀬さんを連想するほど海
女と御宿を結んで、御宿を全国
に紹介し、観光御宿の基礎をし
つかりとつくつてくれました。
今でもカメラマンの訪れが絶
えないことはその事実が物語る
もので、その功績は大きく、心
から敬意を表する次第です。

私達の町は合併後早くも九年
の歩みを重ねました。その間新
らしい時代にそつた、適正規模
団体としての基礎づくりを努力
して参りましたが、これからの
御宿発展を考える時なんと
言つても観光に重点をおかねばなり

ません。それには第一として、

観光道路に着手することが急
務であり、旅館の完備等はこれ
また言を待たぬことでありま
す。しからば観光道路として町
民のもつとも要望する所は、岩

町長 井上 文吉



和田漁港を経て大波月、小波月
を通り、小浦に至る海岸線道路
の拡張工事でありましょう。

そして白砂青松の網代湾を中
心として海水浴場、轟山の周辺
一帯を観光の中心として開発す
ることであります。

古歌に

弓張の月の宿れる底を見て鳴

鹿の海に海女の入るらん

恋しきになぐさむやとて
逢うまでは

いざや片見の浜にかもねん

轟の山のおろしに雲晴れて
影すみわたる岩和田の月

また民謡に

那古の観音山ほととぎす

ないて御宿記念塔渡り

などというものがあり、景色の
よい海岸地帯は古くから歌にま
でうたわれていました。轟山を
中心にしてサンドスキー場を渡
り六軒町皇神社の森に小鳥等を
慈育し啼かしてて外客を楽しま
せ、また磯づりのためのつり場
の設置も必要にせまられていま
す。さらに眼を転じ新町天の守
の山頂にドライブ道路を開拓し
太平洋の遠望を味わいつつ登記
所の裏通りを一周することも愉

快ではないでしょうか。次に天
の守の裏面竹の谷は日頃水源ゆ
たかであるからこの地域に「ダ
ム」をつくり小舟を浮べ廻りに
住宅地を設けたならば正に絶景

を歌はれるでしょう。やがて御
宿の熱海を夢見ることで、都人
士の来遊期して待つべく。さら
に南方岩ヶ山町有山林地帯より
薬師堂渡りの景勝地を利用して
遊園的施設をめぐらすこと。そ
の他数々の施設に思いをこらす
時心を千々に砕くことのみであ
りましょう。次に今住民がもつ
とも関心をもっているものに海
老塚越しの千坪余りの埋立地が
ある。この土地をいかに価値づ
けるかが問題になつております
が、すでに大原町また一宮町で
は、国民宿舎をつくつて成果を
収めているときいております。

り健全なる観光地として外客の
誘致により当町の発展を図るを
以て目的とする。」と示されて
あります。

親愛なる町民は、昔より人情

その真似をするのではないが、
これ等に類した建設物いわゆる
海の家を建設し、開放的施設、
憩いの場所として来客に自由を
与え、一定の料金を収益する方
法なども如何かと考えられます
が、かくては建設物のために、
自然の美をなす網代の海の砂丘
を始め風光明媚の生命線を失う
おそれがあるのでかと思いを凝
らしては限り知られねど如何に
せん……。そこで東京オリン
ピック大会を目のあたりに控え
て考えを要することは、観光協
会規約第三条に「本会は御宿町
内に於ける観光事業の振興を図

豊かであります。そして日頃至
極親切であります。今や世を挙
げて小さな親切運動が甚に叫ば
れておりますが誠に同感であり
ます。そこで友納知事は千葉県
より紙屑をなくせ清潔にしよう
ではないか、東京オリンピック
大会を目のあたりにして郷土を
美しく住みよくすること。また
「美しき花のかほりはわが郷土」
という標語を県下の市町村役場
に通達して県民運動を呼かけま
した。この時に際し健全なる観
光地として誇りを持つならばお
互いに考慮いたされまして、観
光客には親切にしていただきた
いと思ひます。そして家のまわ
りに花をいっばい栽培して見る
からに花の町に美化しようでは
ありませんか。ひるがえつて山
間地域に希望を寄せて見ましょ
う。今後三年位にして上布立
山部落より、勝浦市の中心に通
ずる四千メートルの県道両側に
桜の木を植えたならば十年を待
たずして春爛漫の花のトンネル
を觀賞することもできて外客を

誘致することに役立つと思う。さて最後に余り老婆心に駆られいささか失言であるかと思いがすがおゆるしを乞ひ願います。夏季の頃、外客に対して物資等

の取り扱いは、出来得る限り、そのほどほどに思いを寄せられまして、われ等の町の誇りをいやが上にも高める心の持ち方も親切の一つではないでしょうか。

か。重ねて申し上げます。明朗なる美しく住みよい平和な観光御宿の町づくりにまい進いたしましょう。

新発足した観光協会

会長に金井氏 副会長は 尾上 中村 の両氏

新しい機構のもとに御宿町観光協会が新発足しました。

町民全体が会員でありながら権利も義務もない漠然とした会の構成から脱皮し、真に観光協会の必要を認める、自覚ある人達の力を結集して時代にマツチした観光協会にしようという趣旨のもとに、旧観光協会を発展的に解消し、ここに新観光協会が誕生したわけである。

四月三十日午後一時より、御宿小学校講堂に於て、設立総会が開催され、規約制定のあと、役員選挙が行なわれ、会長に金井英一、副会長に尾上豊、中村喜一、監事吉野要、浅野航海、会計松本光一郎の各氏が選出されると共に、理事は各区互選により次の二〇名の方がそれぞれ選ばれました。

また今日まで観光御宿発展のために献身的な努力をされた、岩瀬禎之前会長を満場一致で名誉会長に推せんし、承諾を受けました。

このあと、昭和三十九年度予算及び事業計画が決定され、名実共に、観光御宿の近代化へと力強く第一歩を踏み出しました。

観光協会の顧問、参与、役員と、今年度予定されている事業は次の通りです。

金井 会長 尾上 副会長 中村 副会長



顧問 町 長

名誉会長 岩瀬禎之

参与 町議会議員(役員との職にあるものを除く)

駅長、消防団長、郵便局長、商工会長、

岩和田、御宿漁業協同組合長、御宿農業協同組合長、ゆうもあくらぶ会長、御宿、岩和田、小、中学校長、夷隅高校御宿校舎主事、千葉銀行御宿支店長

会長 金井 英一

副会長 尾上 豊

監事 中村 喜一 吉野 要 浅野 航海

海なし県で宣伝につとめる海女さん達



観光協会事業計画

◇観光物産展に参加する。
◇都内観光案内所等を通じ観光客を誘致する。
◇ポスター、パンフレット、チラシ等を発行配布する。
◇事業
◇駐車場を完備する。有料駐車場を二カ所設置する。
◇夜間、街を明るくするため照明を整備する。
◇欲迎塔をつくる。
◇指導標を完備する。
◇駅前案内所を改装する。
◇夏季海水浴場における水難事故防止のため必要な設備をする
◇水難事故防止に関する講習会を開催する。

- 〃 江沢 一雄 六軒町
- 〃 石井 文夫 〃
- 〃 江沢富士松 岩和田
- 〃 石田 行雄 〃
- 〃 君塚久仁治 実谷
- 〃 吉野 毅一 上布施

理事 松本光一郎 須賀 鶴岡 亀治 須賀 関 享 〃 水谷三九三 〃 式田 雄吾 〃 神定 佐一 〃 井上 源吉 高山田 岡村 甲純 久保 市原 義夫 〃 小池 健 〃 井上 利一 新町 泉 善次郎 〃 武井 孝二 〃 松本 勘次 〃 石川 勝 〃

◇駅前案内所を改装する。
◇夏季海水浴場における水難事故防止のため必要な設備をする
◇水難事故防止に関する講習会を開催する。

にぎわう海水浴場



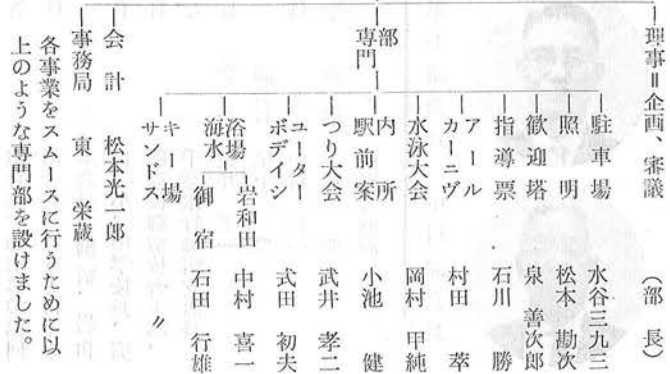
- ◇夏季の貸家、貸問のあつせんをする。
- ◇娯楽施設(ボデザインユーター)などを設置する。
- ◇観光道路、便所を整備する。
- ▲行事▼
- ◇おんじゆくカーニバルを開催する。予定されているものは
- 水泳大会、黒ン坊大会、スイカ割り大会、ツイスト大会、つり大会、相撲大会、野球大会、観光写真コンクール、サンドスキー教室などです。



御宿の海女は全国に知られている!

観光協会機構

会長—渉外、宣伝
副会長—庶務、人事



退任のことば

観光の役割りは重い

岩瀬 禎之

御宿町観光協会名誉会長
旧御宿町観光協会 長



今回観光協会長を辞任するにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

思えば昭和二十四年以来十五年間にわたり観光協会長の職にありましたが、その間町当局、各役員はじめ皆様の絶

る観光客も実に多くなりました。したがって、我が町における観光事業の役割も、決して軽るからぬものとなりました。

このような意味におきましても、町民の皆様は観光に對する一層の御理解を御願いと共、私自身も今後なを微力を尽したい所存でございます。

感謝致す次第です。

新会長に選ばれた金井英一氏はまことに視野の広い方でこれからの観光事業発展のためにはまことに適任者であります。

私以上、皆様の御協力をお願い申し上げます。

大なるご支援をいただきましたその重責を無事果たさせていただきましたことを深く御礼申し上げます。

近年我が御宿町が観光地として非常に脚光をあびて参りまして、四季を通じ、訪ずれ

お願い申し上げます。

観光嫌いの人たち

—この二三年が観光作戦の勝負

御宿町観光協会会長 金井英一



観光嫌いの人たち

世間には「観光嫌い」という人たちがいる。これには二種類あるようだ。第一はにぎやかで騒々しい事は、大嫌いというタイプ。第二は観光観光と騒いだつて儲けるのは他人で俺には関係がない、いまいましいだけだというタイプ。

第一のタイプとしては例えば作曲家の冨田伊玖磨氏のように、住んでいた葉山が観光ブームで騒々しくなつたと、八丈島に引越してしまつたというふうなのが代表される。私のようにモダン好みで催しものの好きな男にとつては、感嘆おくあははざる高邁な精神である。

のタイプの「観光嫌い」の人たちがいるようである。

なぜ観光観光とさわぐか

先づ観光地となるとどういふトクがあるのか考えて見よう。

- (1) 旅館、売店、商店は収入が増える
- (2) 農民は野菜を、漁民は魚を有利に売れる
- (3) 地価は値上り財産が知らぬ間に増える
- (4) 交通の便が良くなる。現在でも準備は全部停車するし、バスタクシーも便利になつて来ている
- (5) 道路の舗装は進み、町は美しくなつてくる
- (6) 有名地に住む誇りをもてる要するに町民が等しくねがつている町の繁栄、自分の繁栄にそのまま結びつくのである。勿論マイナス面もある。遊び

に来る人ばかり見ていると汗水たらして働くのは馬鹿らしいと考えるかも知れない。軽薄の風に染まる青少年も出て来るかも知れない。しかし町が繁栄の方向に進むという大利益の方がはかり知れないほど大きいのだ。

観光は今や御宿町最大の産業

昨年度御宿町の水産業総収入は一億八千万円、農業総収入は一億二千万円、そして観光収入は約一億五千万円という見当である。

この内大中にのびる見込みのあるものは、誰が考えても「観光」以外にはないだろう。「観光」の一億円を二億円、三億円にするのは、決して遠い将来の話ではない。

観光の舞台は今や外房に移りつつある

湘南の海岸は既にせせこまし

くなり、内房は工業地帯の発展で海が汚れて来た。そしてようやく舞台は外房に廻つて来た。

昨年から今年にかけて、白浜、鴨川、小湊の観光に対する意気込みはずまじいばかりである。これらの町では御宿町の数倍から十倍の観光予算をつぎこんでいる。御宿はこの三つの町には明らかに観光地として立ちおかれていない。

大きな旅館は無いし数も足りない。受入れ態勢も全般にまだまだ。勝るものは美しい風光のみという状況である。

しかし考えて見よう。御宿はこの中で最も東京に近いのだ。僅か一〇〇軒の所に一千万人のお客さんが住んでいるのだ。立ちおかれているからこそ高度成長の可能性がある。この二、三年で外房観光作戦の勝敗が分れるであろう。今が大事、ほんとうに今が大事な時である。

目ざすは国際級保養地

荒唐無稽なダボラを吹いているのではない。私は日本の一流の観光地の大半を知つて居り、ヨーロッパ各国の国際的観光地を確めて来た。そして益々信念を強めた。御宿は国際級保養地

を目ざすべきだと。

何故ならばこの御宿には立地因子が揃つている。首都大東京から一〇〇軒の距離。南向きの明るい海岸。青い太平洋。そして白くきれいな砂浜は外房第一比類ないものだ。

山の上から見た緑の多い美しい町並み。三方を山に囲まれて手頃な大きさの御宿盆地。一体外房のどこと比較して風光、立地因子の点で劣るだろうか。

今は泊るべき宿、受け入れるべき施設に乏しいから観光客をにがしている。しかしこの風光に十億、二十億の資本が投下されたらどうだろう。たちまち御宿は東京の保養地として千葉県を代表するだろう。どうしてそれを夢だといひ切れるだろう。

大資本受入れをどう考える？

一口に十億二十億というが、御宿町の場合勿論自力では出さない。ここに「大資本」受入れの課題がある。むつかしい問題である。

大資本をうまく利用して地元のみ栄えて地元が枯れた例。大資本大資本を避けて発展しない町

の例。私はたくさんの例をこの眼で見ている。スキーの關係で大資本の幹部の人達と交際があるから、大企業家のものの方も知つている。御宿は観光大資本の受入れをどうすべきかについては充分な考えがある。

しかし今ここでこれをのべるワケにはいかない。町の人には是非聞いていただきたいが大資本の人達に読まれると困るからだ。今は御宿町にとつて大事な時期だからである。

歓楽境か保養地か？

一口に観光地といつても観光地のこともあるし、保養地のこともある。御宿は夜の遊び場所が一つも無いとコボす客も多いそうである。芸者、バー、キャバレー、更にはトルコぶろからヌードショウまで揃えなくては発展しないという人もある。東海道沿線の浜松、名古屋、特に最近では岐阜が夜遊びには面白いそうで、わざわざ途中下車する客も多いそうだ。ヨーロッパでも、コペンハーゲン、ハンブルグ、アムステルダムのお色気戦法は有名で、そのために立ち寄る観光客の落す金は大きな外貨収入となつてゐる。しかし観光

とはそんなものをいうのだろうか。観光協会会長はキャバレーのマスターみたいなものか。そうではないだろう。

オーストリアには別に色気地帯が無くとも雄大なアルプスと清潔快適な施設だけで年間三億ドルすなはち一〇〇億円の観光収入をあげている。スイス然り。ノルウェー然り。フランスの地中海沿岸は「コート・ダジュール」(青い海岸)と呼ばれ、カンヌ、ニースには青い海とさんさんたる陽光を求めてヨーロッパ中から人が集つて来る。ローマの終着駅前にはおびただしい街娼が立つているが、その南二〇〇料のナポリはポンペイの遺跡とヴェスヴィオ火山と青い海だけで世界の人を集めてゐる。

扱てわが御宿の観光資源は青い大平洋と、広く白い砂浜と、岩和田東部の原始的な海岸である。この一番大事な観光のネタである砂浜の砂を土建屋が運び出し、代りにガラクが運びこまれ、バラック同様の家が建てられるのを私は身を切られる思いで嘆き、抗議してきた。それは「観光御宿」の自殺行為であることがどうしてわからないのだ

ろうか。御宿の砂浜は宝なのだ。家が建てば発展だと思ふ思想が間ちがいだ。御宿は浅草のマネゴトをする必要はない。場の盛り場は手本ではない。

岬と燈台の白浜。旅館群で団体客を集める鴨川。名所めぐりでかせぐ小湊。このいづれも観光御宿の進む道とはちがうように思う。御宿は御宿だけにしかない魅力をもつと大事にしなくてはいけない。

御宿の目ざすのは国際級の保養地である。夜の遊び場ほどの程度が良いか答はおのづから出てくる。欲しいのは小ざれいな喫茶店、食べもの屋。酒の味を楽しむダンスの出きるバーなど。しやれたものはどんどん出さてほしい。しかしトルコぶろやお触りバーなどで名を売らる必要は無いのだ。

評判が大事

昨年千葉県を訪れた観光客数は九二〇万人、落ちた金は二十七億六千万円である。——県観光課の調査。

これは千葉県の各市町村に平均にばらまかれる数字ではない。評判の良い土地だけが、まとめて頂戴したお客とお金なのである。どうしたら評判が良くなる

のか。いくら景色が良くても景色だけでは観光客は来ないのである。

親切にすることだ。町をきれいにすることだ。ボラないことだ。設備を増やすことだ。そして宣伝することだ。そして設備と宣伝には特に近代的センスは不可欠のものである。

今年の評判で来年の観光客は増える。お客が増えれば金が入る。金が入れば町はきれいになり設備は出きる。設備が出きれば更にお客は増える。これは果てしなく循環するのである。

そしてこの反対は——果しない悪循環によつて町はさびれるのである。ほんとうにおそろしいことだ。町民の皆さん。名のあつた土地に住んでいる誇りを持つてほしい。町を愛するなら町ぐるみの観光に協力してほしい。

最後に会長就任の挨拶

扱て私はこの四月三〇日の総会で観光協会の会長に選出されました。

私は前会長の岩瀬禎之氏に腹の底からの敬意をもつて居ります。市東製三郎氏も観光協会として特記すべき人物です。実際今までの観光協会はイバラの道でした。お金も無く日も当らなかつた。それを懸命な努力の結果どうやらツボミがふくらんで

来たという状態です。このツボミを開花させ、実をむすばせる大切な、華かな時期にバトンを受けついでワケです。ここで私が無為にすごしたら、人間のネウチがなくなりませう。

ですから五月一日以来私は連日連夜、観光観光に明け暮れています。もはや評論家の態度は許されず、すべて実行によつて示さなくてはなりません。

そしてつくづく感ずるのが、今転換期であるためのむつかしさです。前例通りでないと承知しにくい人がまだ相当います。

私はそうは思いません。観光事業はアイディアの戦いです。去年と同じことをやつてるだけでもう負けです。良いと思つたらスピーデイにやることです。観光事業での遅疑逡巡は敗北に通ずる。前例は単なる見本にすぎない。必ず見本通りにやる必要はないと思つてゐます。

ともかく、いろいろやつて見ます。やつて見なければ答は出ないからです。町民の皆さんの御協力は始めから期待してかかつてゐるのです。どうかテンブクさせないで下さい。

おわり

私はこう考える

御宿を一流の観光地にするにはどうしたらよいか、次の人達に意見を聞いてみました。



伊豆に追いつき

伊豆を追い越せ

内山 保

(御宿町商工会長)



南房総国定公園は伊豆と位置、地形、景勝が非常によく似ているといわれながら東京より距離も近く、面積も大きい房総半島への観光客が年間一千万人に対し、距離も遠く面積の小さい伊豆半島へは一千五百万人もの人々が行っている。

美しい風景に恵まれていないが観光地として立ちおくれしている原因は長い間、軍の要塞地帯として一般の人が入れなかつたことにもよるが、それ以上に遊ぶ施設が少なく、且観光バスにゆられて房総半島を一周したお客は、アノガタガタ道の房総へは二度と行かないと不満をぶちまけるし、バスの運転手は房総だけはカンペンして下さいと断わるそうである。

先日わが町での移動県庁で県知事が房総の観光開発には力を入れるとの事です「伊豆に追いつき、伊豆を追い越せ」のスローガンをかけており観光地としての南房総も大きく発展する事と期待しております。

美しい入江と複雑な海岸線の内房は、女性的で日本画的であり、太平洋の荒波をうけた豪快な外房は男性的で油絵の美しさのようであるといわれております。そして、内房の観光客の約60%が海水浴客で春秋の観光客は10%程度に過ぎず、これに対し外房は利用が多目的で海水浴客が40%で内房より少ないけれども、春秋の観光客は35%以上も占めており、特に注目すべきは冬期の観光客が増加しており、これは本格的観光地として発展するに誠に好ましい傾向であり、今後の南房総国定公園の

中心は外房が占めるといわれ、御宿は特に有望とされていきます。温泉がないことは観光地にとつて致命的な欠陥といわれましたが、最近では湯治客は次第に姿を消し大部分の観光客はレジャーの楽しみを求めて遊びに来るので、温泉の有無は単に気分的な問題であり、立派な風呂に常時豊富なお湯を流していれば温泉となら変わる所なく、観光客を誘致出来ると思われま

あるという。

以上のことから、御宿の観光を見るとき、雄大な海岸線や海老や鮑の郷土自慢の高級魚貝類、そして松の緑に包まれた御宿は、空気をウマイと都会の人々に喜ばれております。先にも申し上げましたが、夏の海水浴客以外の春秋の観光客が年々増加する現状にある今日、この観光客の受入れにも力を注ぐべきであろうと存じます。

数年前の話ですが、麦は一反歩耕作すると四十二円の損失になるといわれましたが、まだ麦畑が随分見受けられます。戦

前は、国民一人当り一年間一石(二俵半)食べたお米も現在では、八斗六升と一人当り一斗四升も喰べなくなり、時代の移り変わりと共に食べ物好みも大きく変化しております。都会の人には絶体に喜ばれるいちごをこの麦畑に作り、山林にみかん山が出来たなら、いちご狩り、みかん狩り夏以外の新しい観光客を誘致出来、農村発展にも寄与し四季を通じて外房第一の観光御宿に発展するのではないでしようか。

どれだけあるか、また未開発の観光資源はどうかを知り、それら一つ一つをどのように生かすかが大事だと思います。そして、これらをクサリの環のようにむすびつけ、総合的なものとしたとき、始めて力強い一大観光地となるのではないでしようか。

では観光資源としてどのようなものがあるかと言いますと一、海Ⅱ海面、砂浜、漁業(①アワビ、サザエ)海女、②イセエビⅡエビ網、③磯魚Ⅱ一本釣)二、丘Ⅱサンドスキー、記

御宿の観光と産業

式田 初夫

(御宿漁業協同組合長)



御宿を発展させる手段はいくつもあるが、観光の町として育てようとするのが大かたの人の考えだと思えます。そこで、私の考えを述べてみたいと思えます。まず第一として、観光資源が

念塔、果樹園。

これらの観光資源は、どれ一つとつても、一つ一つでは余り大きな力はないが、これを地元民の利益というのを考えに入れて、これらをつぶ道路整備拡充が大切な事と思います。

次に水産業と観光との関連ですが、海を利用しての観光発展策として、泳ぐことばかりでなく、もつと立体的に使うべきでしょう。この点今度観光協会長になつた金井さんが良い考えをもつています。

砂浜の利用は、御宿組合でハマグリを移植したのですが、今の所結果ははつきりわかりません。しかし結果が良かったら、これを利用して潮干狩などが考えられます。また、磯根漁業を主とする船は、町とタイアップして組織的な遊覧船として発展させ、一本釣船は、釣船経営に転換して行くべきです。

水産加工業は共同で売店を設け土地の製品を宣伝販売する。

丘の資源を利用しての観光発展策として、まず農業と観光の結びつきを考えたとき、御宿平野部を取り囲む丘陵地帯にミカン類、土地風土に適した果樹園、そしてこの丘陵地帯を貫ら

ぬく環状道路をつくりサンドスクイ場、記念塔、岩和田、大波月、小波月を結び、途中いくつか遊園地を設け、観光と産業をかねた、動脈道路とします。果樹園の計画も、十年の計画となるでしょうが、町にしつかりとした計画があれば必ず出来ま

す。『ローマは一日にして成らず』ねばり強く実行することが大事です。

次に未開発の観光資源ですがこれはかつて、広報で村田先生が提案された網代湾の貫通道路です。即ち、岩和田港より、網代湾を横断して一大海湖をつくるのです。これは御宿の漁業及び観光にとつて切札的な価値がある。道路の下を人工魚礁によつて魚のアパートとし、イセエビ、磯魚、アワビ、サザエの住み家とする。堤防の内側は今までの荒海とちがつておだやかな海となるので、一大プールが出現します。そしてヨットやボートのハーバーとすれば海の立体的活用も十分となります。

次に人口海湖を基点とする、航路の設定です。西は勝浦猿ヶ城、理想郷、妙の浦を結び、東は大原、太東を結び、百トン未満の観光船の就航、道路の拡充と相まつて定期船の就航が実現すれば、夷隅郡下漁業組合の統

合近代化と相まつて御宿町が夷隅郡の中央都市として発展することでしょう。

そして観光の町御宿という看板をかかげたならば、町の美というものを考えるべきです。家の新築、改築、物置小屋、ガレージ一つ建るにしても、町で設計、デザイン等をサービスし色彩は御宿の風光に合った色を用いたならばやがては近代的な美しい海浜都市となり、美しいつばな観光の町となりましよう。

最後に、本題の目的を達成するには近代的な感覚と、エネルギーを必要とすると共に、地元民の協力が必要条件となることはいふまでもありません。

観光で飛躍しよう

松本光一郎

(御宿町商工会青年部長)



私はまず最初に編集者の非常にタイムングのよい今回の観光特集

に対して、心からの賛意を表したい。永年町が暗中模索していたわが御宿町の将来が、ここ二三年にしてある程度の方が示

され、特に最近では何が何でも観光以外に生きる道はないのだとはつきり明示されてきたこと

だ。これはひとりわが町に限らず、千葉県の殆んどの地域が特に外房の町村に於ては好むと好まざるに限らず、あらゆる条件が観光という面にマッチし然もそれに焦点をしばりつつあるという事実を見ても察知できる。幸いにして当御宿町でもこのような社会情勢を認知し、この方向づけに町の見識者達が急速に動きつつあることは喜びにたえないと思います。さて、町会議員の諸氏がその立候補の公約の一つとして、必ず歌文句に入れた言葉が、今や現実として活動の段階に入ったのであるから、この際、大いに活躍を期待しているのは町民の一人として私だけではありません。私がいま

す。私が子供の頃の御宿の経済は水産業者の手によつて握られていた。特にあがり業者はその大きな担手として活躍していた時代には、鯛の漁獲量が直ちに我々の台所に響いてくる程のウエイトを占めていた。ところが、最近のいわしの占める地位及びそれに関連する水産業者の台所も、時代の流れに大きな体質改

善を迫られている。町民の台所に於ても、もはや経済的な担手として効力は非常に弱まりつつある。それに取つてかわつて、今や時代の脚光を浴びてきたのが、レジャーブームに連がる観光事業なのである。私も観光協会の役員の一として、過去数年間観光の仕事に接して参りましたが、今迄は何か一部の人が騒いでいるだけで町民全体が

に対して認識不足の感がありましたが、特に昨今では、わが町の立地条件から致しまして、何が何んでも生きるためには、何等かの形で観光に結ばざるを得ないかと思ひます。かかる意味合いにおきまして、町民の一人一人がその重要性、経済的な将来性を認識致し観光を伸すことに全面的な協力をしてわが御宿町の明日への大きな発展に寄与しようではありませんか。

観光に思うこと

岩瀬 京子

「観光」という言葉を辞書で引いて見た。他国の風光、風俗などを、見物する事とある。御宿の特徴である白い砂丘が住宅等でどんどん失はれてゆく現在何で御宿を印象づけるか、観光

地御宿には、いろいろな夢はあるけれど急速に実現は不可能な事だ。

けれど、すべての人の求めるものは、景色を見ても、海水浴をしても、最後は憩いの場所であると思う。

御宿は、風光明眉である点、砂浜が他に類を見ないくらいきれいである点、劣る所はないが、憩いの場に欠けている。日本人は昔から風呂好きで、温泉場が発達してきている。だからこの御宿にも温泉があつたらと思う。さく所によると御宿附近でも比較的、浅い地層に温泉の出る可能性があるそうである。御宿を限界として勝浦まで、地質学の事はよくわからないが、本当の事だ。それがもし本当なら、夢はどんどんふくらむ。

ああして、こうしてと果しく空想を拵げて見る。誰か一度お金のかかる事だけれどボーリングして見ればくれないかしら、あ、それから記念塔の上と、サンドスキー場に、モダンな、レストハウスを建てて、涼しい憩いの場所を提供して下さい。夕立が来ても、雨宿りの場所がないし、涼をとる木陰もない。だから、落着いてゆつくり出来

ない。設備がなく景色だけではお腹はいっぱいになりません。(主婦46才)

市東 袈三郎



四季を通じての観光地にするとはもちろんであるが、調和のある土地開発をし、観光ルートを作つて定期観光バスを走らせるようにしたい。

観光の一つの条件として花柳界が必要だと思ふ。そして一日八百円くらいで泊らせるような民宿を育成することだ。(電気商48才)

風間 康宏



町が観光で生きようとする方針ならば四季を通じて観光客が来るような施設をすべきです。

デラックスなホテルも当然必要ですが、国民宿舎のような安

泊れるものを町でつくつたら良いと思ひます。日西墨記念碑をはじめ、風光明媚な所を開発すると共に宣伝をして下さい。駅としては、観光おんじゆくの玄関にふさわしい駅づくりと皆さんの協力を得て準備が今後も年中停車するよう努力します。(御宿駅長41才)

君塚 逸子



夏になると物価が高くなるという声がありますが、需給と供給の関係で多少の上下は仕方ないことだと思ひます。

しかし地元の人と観光客を区別する(人を見て売る)ようなことはやめて下さい。それと観光客にはもつと皆んなが親切にしてあげたいと思ひます。観光々々と言つても毎年同じことのくり返して進歩が感じられません。機構も改たまったこととですし、他にない施設でもしてぐつと御宿を魅力的にして下

さい。(事務員24才)

岡田 正久



町全体の総合計画を立てて、まず方針をつきりと決めることで

観光にしても計画がしつかりと出来たら、予算を重点的に使つて計画達成に全力をあげてほしい。これからは施設がなくてはお客を呼べない時代なので、から、りつばな施設をどしどし作ることです。旅館ももうホテルの時代ですし、プールを始め海がはじめて、海水客が楽しく遊べるようにして下さい。(眼科医46才)

中村 吉雄



私の望むこと。1 藤山ロ一ブウエーと太平洋を望む大日蓮

像の建設。

- 2 岩和田港から小浦海岸までの道路拡張と整備。
 - 3 海女案内コース(遊覧船とか、案内導票の整備)
 - 4 国民宿舎の建設。
 - 5 ホテルの誘致。
 - 6 民宿(海の家)の設備促進と資金斡旋。
- (商工会経営指導員49才)

佐藤 政蔵



夏はもうだまつても御宿はいつばいになるのですから、夏以外に人を呼ぶことを考えなくてはいけません。その点つり客は四季を通じて来ますし、年々増えています。つり場をいくつか作つたらさらに増えることは明らかですからこうした施設をぜひお願いします。つり舟も専門にやる人が出来るとよいと思ひます。それと旅館にお願いしたいことは設備を良くしてほしいことです。(つり具商61才)

観光開発に県も本腰

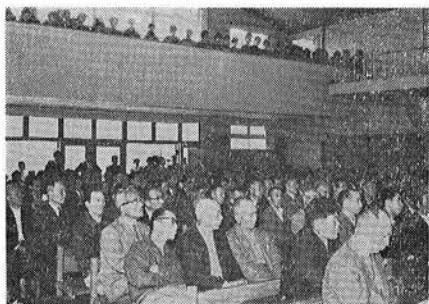
移動県庁開く

観光問題で知事が回答

四月二十四日午前十時より夷隅高校御宿校舎講堂に於て、移動県庁が開催されました。

移動県庁とは、知事が県下各町村へ出て、県民とひざを交えながら、いろいろな意見や要望を聞き、それを県政のうえになるべく多くとり入れることにより、住みよい千葉県をつくって行こうという考えから開かれています。

この日の出席者は約三百名で終始活発な意見交換があつて、十二時閉会しました。質問及び回答の要旨は次の通りです。



会場には三百名の人がつめかけ熱心に事知の話聞いた

【質問】 さきに発表された県の観光開発整備計画の中にあつた七つのモデルルートに御宿町が入っていない。是非再考をお願いしたい。

【知事】 観光問題はもつと伸ばすべき部面だと思ふ。特に御宿町は農地もせまく、また漁業の振興も急激には考えられないが、幸いに観光資源に恵まれているので、今後PRもし、整備もしていきたい。

【質問】 最近観光地として注目されてきた南房総の道路は悪い。富津岬から勝浦沖への房総



砂防林を視察中の知事

横断道路をつくれれば観光県として伸びると思うが、その計画は？

【知事】 千葉県の観光で、一番の問題は道路である。過去十年來このことに力を入れてきたとはいえまだ不十分だ。そこで四十三～五年までに二級国道は一〇〇％幹線県道は八〇％一般県道は四〇％の舗装計画をたてた。また、南房総の観光道路は、有料道路として昨年一〇月に着工し建設をすすめている。

【質問】 千葉の観光県としての魅力は、外房の海岸線つまり白浜、鴨川、御宿にあるので、

観光開発計画は重点をきめてコースをつくるべきだ。

【知事】 勿論、千葉県は海岸線が一番の観光資源である。七つのコースに御宿町が入っていないというのは何かの誤解だと思ふ。御宿も含めて観光計画をたてたいのでご協力を願いたい。

【質問】 工業地域と漁業地域との所得格差は正については？

【水産部長】 第一次産業と二次、三次産業の所得格差は大きい。そこで、県としても真剣に検討し予算の編成もし、この問題を県政の中心として考えている。また、漁業関係者の所得増高のためには、獲る漁業から作る漁業に方向を転換しなければ

ならないので、本年度は特に漁礁の設置、船舶の改良、大型化、漁港の整備等を考慮して沿岸漁業の振興をはかる。

【質問】 岩和田漁港を四十二年までに完成させてほしい。

【水産部長】 岩和田漁港は三十八年度から四十三年までに総工費五二〇〇万円で防波堤の建設、湾内外の浚渫船揚場の建設を計画している。三十九年度については地元から二、〇〇〇万円にきまつた。前年度は五〇〇万円であつたので国全体の漁港予算ののび率一、七％に比べれば、いちぢるしい増額ではあるがこれで満足はしていない。水産庁に対し更に強く折衝する。

【質問】 建築許可を受けた家

出席者

(県庁側)

友納知事、篠原総務部長、下川農林部長、大竹水産部長、松垣土木部長、山下教育長、幡谷秘書課長、香西県民室長このほか出先機関より夷隅支庁長ほか11名

(県議會議員)

庄司 勇、坂井 時夫

(質問者氏名) 順不同

水上甚八、松本鼎、井上利一、金井英一、新井清治、村田治作、山本稻直、佐藤高二、市東製三郎、江沢一雄、式田雄吾

屋の土台下に町道の側溝を作られた。国や県へも十数回にわたり相談したが解決されないで困っている、早期解決を願いたい。

〔答〕 土木事務所長が仲に入つて早急に解決をはかる。

〔質問〕 産業教育振興のための施設、設備の拡充とともに指導者の養成を考慮してほしい。

〔教育長〕 千葉市に産業を含めた理科教育センターを作り、指導員の養成をしているが不十分なので今後力を入れていきたい。

〔質問〕 観光その他のポスターをもつと県外へ出してほしい。

〔総務部長〕 現代はPRの時代なので十分力を入れたい。特に観光ポスターについては、ゆるす限り県外へ配布したい。

〔質問〕 国道一八号線と大多喜、千葉線の舗装を部分的でなく連続的にやつてもらいたい。

〔土木部長〕 今後一環してやるよう努めたい。

〔質問〕 清水川橋の橋脚を災害復旧工事した際石を投げこみ、河床が浅くなり、大雨時には床下、床上の浸水家屋が二十七戸も出る。今後の工事には十分

注意してもらいたい。また、実情を調査してもらいたい。

〔土木部長〕 工事の方法としておかしいので調べてみます。

〔質問〕 町の総合開発計画を推進するため、県から助成金をいただきたい。

〔知事〕 国と相談して十分に援助したいと思う。必要があれば派遣職員あるいは企画室の計画の援助をしたい。

〔質問〕 農家の近代化に伴ない農業改良普及所を強化し、要望する普及員の派遣を願いたい。

〔農林部長〕 農家の方のレベルがあがっているため普及員も技術の専門化、特技化が必要になり、一人ですべての仕事をするわけにはいなくなつたので、多勢がグループとなり活動せざるを得なくなつたという考えから、三十八年のはじめに普及所の統合を行い県下二十七に

あいさつする友納知事



まとめた。今では各グループがご要望にこたえられる位になつたので、十分活用してほしい。

〔質問〕 本県農産物の価格は非常に不安定だ。生産意欲の向上のため生産費の最低補償を考えてもらいたい。

〔農林部長〕 県として農産物の価格安定補助事業を共済的な形でやつている。それは生産者とその組織の者と同額を県が出し資金を積み重ね、平均価格を基準価格とし、それから三分の二位のところを補償価格とし、それより下つた場合にその差額の半分が補償される。

〔質問〕 林道の補助金を五割に増率して産業開発の基礎となる道路の整備をはかつてほしい。

〔農林部長〕 県単林道は今まで三割の補助であつたものを本



水上岩和田漁業組合長の案内で岩和田漁港を視察

実には生産組織に問題がある。また、小さい農家が自立経営としてやつていくためには、何らかの形で協業していかなければならない。

〔質問〕 畜産物の安定価格の改正が行われたがいくらに決定したか伺いたい。

〔農林部長〕 畜産振興事業団の買上げる価格が二九〇円に決つたので、補償価格三一〇円との差二〇円の半額一〇円が補償されることになる。

〔質問〕 畜産の大型化に伴う汚物処理について県の対策は？

〔農林部長〕 目下のところどういう施設がいと確信をもつていない。

〔質問〕 県立夷隅高校御宿校舎の独立について見とおしを伺いたい。

〔教育長〕 敷地の確保も出来たということなので、来春を期して独立校にしたいと考えている。

〔質問〕 昭和一二年に完成した須賀、浜地区の国道ぞいの側溝は設計のミスか工事のミスか排水が非常に悪い。水産加工の煮汁の匂いで観光御宿も台無しなので早期に改修してほしい。

〔土木部長〕 今年度必ずやる。

御宿俳壇



又ひとつ山裾の灯消え遠蛙

野だての座時々燕来て返えず

タンポポの崖下浪のふくれ来る

I 先生

先生在さば造化の薔薇も匂ふかに

母裸身静脈胸にのたうつて

日曜を返上しても夏せわし

浴衣きて心のみだれかくしけり

土井 久恵

移動県庁花香ただよう学校園
花見人なだれ込み車窓はがらかに
説教と映画競ふかに春の宵

山田木念人

菜の花や文化住宅をちこちに

吉野 鶴女

春風や旅の誘いの便り来る

若葉雨白壁落ちし屋根の草

岩瀬甘露子

雨もよい花重たげに花重ね

岩瀬 京子

梨柵に花盛り上げて海の蒼

春潮の膨れて堤防越ゆるかに

山口 つる



「ここにも
ふるさとの
においあり」

石田ゆき緒

早乙女となつた

海女育ちの乙女たちには

せせらぎの音が琴のひびきのように

きこえてくる

この岬あり

この美田あり

おのが現身を塗りこめた畦の光りに

早苗のみどりが宙に飛ぶと

どこからとなく

鳴く野鳥の声に

早乙女の手先が一斉にうごく

澄みきつた谷間

汚れなき早乙女に

ふるさとのにおいが

また

この岬より果しなく

雲のように流れ出る

御宿町の人口 (4月末)

前月より	(+増-減)
男	4,164人 (-4)
女	4,862人 (-5)
計	9,026人 (-9)
世帯数	2,059 (+4)

編集者 東 上
発行者 井 上

栄 蔵
文 吉

発行所

千葉県夷隅郡御宿町役場



あとがき

☆国際的観光地目ざして、新観光協会がスタートした。
本号は観光特集号として町長観光協会長を始め、町民の方達にそれぞれの立場で、観光に対する御意見を発表していただきました。

☆「すぐれた自然美を生かして、おんじゆくを国際的保護地にしよう」金井さんの「観光御宿の近代化」は新会長としての意欲を十分に表わしている。
☆十五年間、観光協会長として御宿の観光発展に献身的努力をされた岩瀬さんが名誉会長に推されたことは喜ばしい。
御宿の観光を語る時、今後とも岩瀬さんの名前を忘れることはないであろう。